

日本消化器外科学会 国内留学プロジェクト 修了後アンケート

1. 今回、国内留学プロジェクトに参加し、学んだことは何ですか。
今までロボット支援下食道亜全摘術を数回しか見学したことがありませんでしたが、今回見学させていただき、ロボットはこんなにも手首が自由に動き、深いところまでも鉗子が届く、どんなにせまい空間でもカメラを近づけてみるができることに、とても感動致しました。
また、胸腔鏡ではハーモニックなどの超音波切開器具を使うことが多いですが、電メスとはさみで出血ほとんどなく、剥離操作で手術が進んでいくことにもびっくり致しました。
2. 今後、自身の所属施設で実践したいと思ったことはありますか。
私は、食道を専門に学んでいきたいと考えてはおりますが、なかなか医局の派遣先の問題で、食道専門施設で働けたことがございません。いつか、医局の人事で本院などの食道癌をやっている施設で働けることになったら、ロボット支援下食道亜全摘術をぜひ学び、まずは助手の操作など基礎的なことから学んでいきたいと思えます。
3. 国内留学プロジェクトの利点として挙げられることはありますか。
医局の人事で、手術が非常に少ない病院で、現在働いております。そのせいか、勉強するモチベーションがなくなってしまい、毎日QOLを重視した生活ばかり送ってしまっておりました。
しかし、国内留学で食道癌の手術を見学させていただき、食道癌の手術は非常に美しく、頸部、胸部、腹部すべてを手術でき、興味深い手術であること、繊細な手術であり見ているだけでも、とても楽しいと思えました。そして、私もぜひ食道癌の手術を絶対にやりたいと再度実感し、私も勉強しなければという気持ちが出てきました。また、大学や施設によってやり方が違うところもあり、小さい点でも違うところを学ぶことができるのも、非常に利点だと感じました。
4. 国内留学プロジェクトの今後の課題として挙げられることはありますか。
手続きや留学中困ったことなど、些細なことでも良いので記載をお願いします。
今回1日しか見学に行かなかったのも、なかなか他の先生方とお話する時間がなく終わってしまいました。数日間見学にいらしたらよかったかなと思えました。
また、東京からやや離れた大学が多かったので、少し、東京近傍の大学や施設への見学があるとありがたいと感じました。

この度は、このような機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

今後ともまた、ぜひ国内留学に参加させていただけますと幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。